



1 教育方針・教育目標

【教育目標】 より良い未来をめざし、個性を活かして社会を協創する生徒の育成

【育てる生徒像】 自らの成長とともに他者と協働しながら、

より良い未来社会の創造に取り組む人物(=協創者)

2 学校経営の基本方針

本校の「スクール・ポリシー、グランドデザイン」に基づき、「Learning by doing : 自ら成すことによって学ぶ」という教育理念のもと、生徒一人一人が主体的・能動的に学びや教育活動を行うとともに、多くの仲間をはじめ多様な人々との対話と協働を通して「人と人のつながりを大切にする」教育を展開し、「希望をもって未来を協創することで、生徒一人一人が新しい自分を見つけ、自らの成長を実感できる学校」をめざす。

本校は、変化の激しい先行き不透明な時代を、生徒一人一人が自らの力でいきいきと人生を歩み、未来社会を形成する力を育成するため、すべての教育活動において、「自ら考え、自ら学ぶ」ことができる教育活動を実践する。さらに、本校教職員は、生徒一人一人がより良い未来を協創していく主人公であることを認識し、生徒たちの可能性や良さを引き出し、常に成長できるための支援を行い、共に学び合い高め合う学校づくりを推進する。

3 本年度の経営方針の重点

- ① 開建高校の学びの実現をめざして、各教科の授業実践と振り返り、改善の取組を計画的・組織的を推進する。今年度も引き続き、探究的な学びを重視したカリキュラム開発と特色ある活動を一層促進させるとともに、各教科に関する指導と評価の一体化を確立させ、授業をはじめ教育活動の質の向上を図る。
- ② 地域・社会をはじめ京都全体を学びのフィールドとして、企業、大学、教育機関、行政機関、自治会と持続可能な連携を通した特色ある取組等、京都の強みを活かした「総合的な探究の時間・協創」や「学校設定科目・ルミノベーション」を、教育課程の中核に位置付け、未来社会の担い手となるマインドを形成していくことを推進する。
- ③ 生徒一人一人の「可能性」や「良さ」、「強み」を伸長し、本校卒業後、そして5年後、10年後の姿を思い描き、自己実現を達成できるように、3年間を見通した進路指導・キャリア発達支援と「総合的な探究の時間・協創」等の学習活動を連関させ、生徒一人一人へのきめ細かな指導と組織的な支援を行い、将来展望を持って新たな目標や課題を設定し、意欲的に取り組む生徒を育む。
- ④ 部活動や特別活動をはじめ様々な課外・校外活動については、生徒たちが参加しやすい働きかけや環境整備を行なながら、主体性を育む魅力ある活動や特色ある取組を推進する。その活動の中で多様な人々との対話や協働を通して、良好な人間関係を形成し、自らの在り方・生き方について考えを深める機会を多く設け、「豊かな人間性」や「社会に貢献する志」を育む。
- ⑤ 生徒の心の内面を多角的・総合的に理解していくため、困りのある生徒、課題のある生徒、気になる生徒の情報の共有を図り、組織的な対応に努める。さらに、多様な集団の中で、自他を尊重する意識や多様な特性を持つ他者の生き方を尊重し、生徒同士が共に支え合える学校づくりを推進する。
- ⑥ 我々教職員が先頭に立ち行動することで、生徒たちの自発的な校内美化に対する意識の向上を図るとともに、生徒一人一人が場と状況に応じた服装や言葉遣いを行う等、適切な判断と責任ある行動が取れるように、「自ら律する力」や「社会性」を育み、居心地の良い学校づくりを推進する。